

施策名：2-1-1 地域防災力の強化と減災対策の推進

担当部：危機管理室、福祉保健部

検証項目	検証結果					
	検証委員挙手数			市民評価者		
I 施策の実現に向けた取組について	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない
課題がしっかりと捉えられているか	4	0	0	5	2	0
取組の方向性は合っているか	4	0	0	3	4	0
取組成果が、施策実現や成果指標の達成に効果があるか	3	1	0	2	4	1
II 施策の有効性について	有効である		有効ではない	有効である		有効ではない
政策目標の達成に向けた施策の有効性	4		0	5		2

1 検証委員からの主な指摘事項

- 自主防を組織する、マイタイムラインを作成するのが目的ではない。行動できるかが課題
- 市民全員の避難を考えた場合には、自治体未加入者などの詰め、情報をとることが不得手の者への詰めをお願いしたい。
- 市民の行動変容につなげることが課題

<担当部 対応方針>

- ・最重要課題は「行動変容」である。
- ・近年多発する大規模災害が、いつ福知山市で発生してもおかしくない状況である。
- ・防災研修及び防災教育を通じて、この気候変動化における災害リスクを市民一人ひとりが認識し災害時における適切な行動を取っていただけるよう促す必要がある。
- ・適切な避難情報の発信、方法、さらにきめ細かな内容の防災情報の発信に努め、伝達方法も研究し、市民の行動変容に繋げたいと考えている。
- ・自治会単位で作成している地域版ハサードマップについては、自治会員のみならず、居住者全員に配布をしていただくよう自治会に働きかけるなどの対応も必要である。

2 施策改善案など（検証委員、市民評価者が記載したコメントのとりまとめ）

(1) 検証委員

- ・非常によく考えられているが、ここからが正念場と思う。より浸水などとも無縁なところ（が対象）となりますから、大変になるのかなと思います。マイタイムラインなどの取組の中で、新しい自治会がとりこめるといい。モニターなどコスト感覚をもって進めてもらえれば。
- ・課題解決に向けた取組を行う際には、目指すところは誰もが適切に避難できる事であるということのを忘れず取り組んで頂きたい。福知山は昼間人口や他市からの転勤や通学で来ている人が多いので、今後はその対応を考えていく必要があるのではないかと考える。
- ・コロナで防災訓練が実施できていない。コロナ禍でも災害はやってくる。工夫できるのではないかと（例：図上訓練）。自主防災をきっかけに町内自治会の活動が認知される、加入率の向上につながる可能性がある。
- ・自主防災組織や防災マップが市民一人一人に認知され、理解されていく事が大切

<担当部 対応方針>

- ・現在は自治会（地域）を中心として防災活動を担っていただくようお願いをしているところである。
- ・また、これとは同時並行して、昼間人口の多い本市の状況を踏まえて、事業所、教育現場にも積極的な防災の取り組みを関係部署と連携し進めていただきたいと考えている。
- ・教育現場での防災教育は今後の担い手育成にも大きく寄与することから積極的な推進が必要である。

(2) 市民評価者

- ・転入時や広報誌でわかりやすく知らせてはどうか
- ・市民からの声を LINE や Twitter で探してみるなど活動に役立ててほしい。

<担当部 対応方針>

- ・広報ふくちやまでは、毎月防災のページを掲載しており、積極的な防災情報の発信を実施しているが、SNS の活用も更に積極的に行い幅広い情報発信に努めたい。
- ・ハザードマップについてもデジタル化を見据えた検討を来年度にも着手したいと考えている。